

11:13 もし、私が、きょう、あなたがたに命じる命令に、あなたがたがよく聞き従って、あなたがたの神、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くして仕えるなら、

11:14 「わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、先の雨と後の雨を与えよう。あなたは、あなたの穀物と新しいぶどう酒と油を集めよう。

11:15 また、わたしは、あなたの家畜のため野に草を与えよう。あなたは食べて満ち足りよう。」

11:16 気をつけなさい。あなたがたの心が迷い、横道にそれて、ほかの神々に仕え、それを拝むことのないように。

11:17 主の怒りがあなたがたに向かって燃え上がり、主が天を閉ざされないように。そうになると、雨は降らず、地はその産物を出さず、あなたがたは、主が与えようとしておられるその良い地から、すぐに滅び去ってしまおう。

11:18 あなたがたは、私のこのことばを心とたましいに刻みつけ、それをしるしとして手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。

11:19 それをあなたがたの子どもたちに教えなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、それを唱えるように。

11:20 これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい。

11:21 それは、主があなたがたの先祖たちに、与えると誓われた地で、あなたがたの日数と、あなたがたの子孫の日数が、天が地をおおう日数のように長くなるためである。

は降らず、地はその産物を出さず」となることは同じことと表されています。主に従うことは全ての恵みの元なのです。

私たちはここにあるような困難にあったとき、その解決を探ります。しかし目に見えるような原因ばかり探ることはないでしょうか。事柄の原理を調べたり、情報を見つけたり、詳しい人に聞いたりします。それらも主の秩序にありますから無知でいる必要はありませんが、それだけだと解決が見つからないことがあります。

ここには「雨が降らず、地はその産物をださず」にいたるときは、主の怒りが原因なのだと言われていて、今直面している困難に際して、今一度神様の御心はどこにあるのかを聞いてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

